



海上保安庁

令和3年8月13日

福德岡ノ場付近の噴火を確認

本日、午後3時00分から午後3時30分の間、第三管区海上保安本部羽田航空基地所属航空機により観測を実施し、福德岡ノ場付近にて噴煙が確認されました。なお、噴火の規模が大きく、接近しての詳細な観測はできませんでした。

海上保安庁では航行警報を発出し付近航行船舶に注意を呼びかけています。



福德岡ノ場北方約90 km、高度約6,000mから撮影

【福徳岡ノ場について】

東京から南に約 1,300 km、南硫黄島から北北東約 5 km の位置にあり、この付近の海底火山のうちでも、特にたびたび活動を繰り返している場所です。とりわけ、1904年、1914年及び1986年には、一時新島を形成しましたがいずれもその後海没しています。また、同海域は海底での火山活動を示す変色水がしばしば認められています。

